



### ～ごみ減量特集号～

編集・発行 / 袖ヶ浦市廃棄物対策課 〒299-0265 袖ヶ浦市長浦580-5 ☎0438-63-1881 FAX0438-62-2820

袖ヶ浦市ホームページ  
<https://www.city.sodegaura.lg.jp/>



# 今こそ考えたい 「ごみ分別」

## 「ごみ分別」にご協力を

私たちが生活する中で、毎日出るごみ。そのごみを処理しているのがごみ処理施設です。ごみステーションに出された家庭から出た不燃ごみや資源物は、袖ヶ浦クリーンセンターに搬入され、異物などを取り除く作業を全て人の手で行っています。刃物や針などの鋭利なごみによる作業員のけがや、スプレー缶やライターの混入などの誤った分別により、施設の設備損傷や火災発生につながる恐れがあります。

施設の設備損傷や火災などが発生すると、修理に多くのお金と時間がかかるだけでなく、その後のごみ処理に支障をきたします。施設が一時的にストップしてしまい、最悪の場合、皆さんの普段のごみを収集できなくなる可能性もあります。施設が安全に稼働できなければ、街中がごみであふれ返り、衛生的な生活が送れなくなってしまいます。

そのような事態を防ぐため、ごみを出す際は分別とルールの遵守をお願いします。

また、分別は「ごみ」を「資源」に変える大切なひと手間です。一人ひとりにとっては小さなひと手間かもしれませんが、市全体では大きなひと手間となります。

リサイクル率を向上させ、美しい自然環境を次の世代に引き継ぐためにも、適正な分別にご協力をお願いします。

# 「分別」するには訳がある

小さなことを積み重ね、美しいまちへ

## 手作業による再分別

袖ヶ浦クリーンセンターに搬入された不燃ごみや資源物は、作業員が一つひとつ手作業で丁寧に確認し、各家庭からごみを出す際に目が行き届かない、細かな分別まで徹底的に行っています。

小型家電などのリサイクルが可能なものや、ライターや電池などの発火性危険物を手作業で取り出しています。



〔収集後の作業〕

収集された不燃ごみの袋を開けて、リサイクル可能なものや、発火性危険物などを取り出す細かな分別を行っています。

## 分別の徹底にご協力を！



手作業により選別されたものから、ライターや電池などの発火性危険物が出てきました…



ペットボトルの収集はマークがあるものが対象です。



## 分別は大切な作業

皆さんが出しているごみの分別状況は、現在のところ完璧とは言えません。資源物の中にカミソリや工具などの異物が混ざっていることや、有害ごみとして出さなければならぬスプレー缶が中身の入った状態で不燃ごみに混ざっていることもあります。

分別が不十分で異物が混ざっていると、施設の設備損傷や火災につながる恐れがあります。

分別は施設を機能的・継続的に使用していく中で非常に重要なことです。

安全・安心な処理が行えるよう、皆さん一人ひとりのご協力をお願いします。



一人ひとりが分別のルールを守ることで施設の延命化やリサイクルに貢献できます。この機会にごみの分別を見直しませんか？

みんなで減らそう

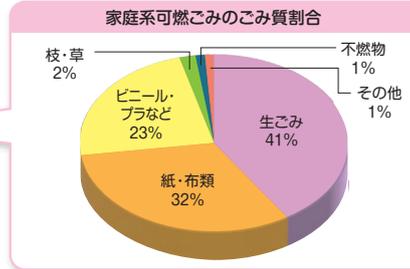
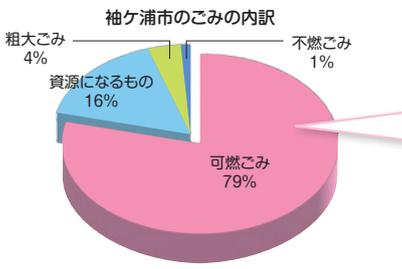
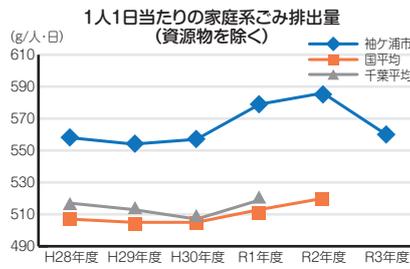
# 袖ヶ浦のごみ



## 袖ヶ浦市のごみの量

皆さんは普段の生活の中で何気なく捨てているごみの量を考えたことはありますか。

令和3年度、袖ヶ浦市から排出されたごみの総量は2万1845トン。家庭から出されるごみ(資源ごみを除く)の量は1万3371トンで、一人あたりの家庭ごみの排出量は年間204キログラム、1日あたり560グラムの家庭ごみを捨てていることになります。何気なく捨てているごみの中には、たくさんリサイクルできるものが含まれていて、分別することにより減らす余地がまだまだあります。



## 「混ぜればごみ、分ければ資源」

令和3年度に行ったごみの中身の調査結果によると、ごみの約80%が可燃ごみとなっており、可燃ごみの中身は「生ごみ」と「紙・布類」の割合が多くなっています。助成金制度のある生ごみ処理機などを使っての生ごみの減量や、「雑がみ」や、「紙パック」などの古紙類を積極的にリサイクルするなど、より徹底した分別をすることで、可燃ごみの量を減らすことができます。

地球上の資源は無限にあるわけではありません。資源物は、分別することで繰り返し使うことができます。ごみの減量や美しい自然環境を次の世代に引き継ぐためにも分別は重要な取組となりますので、「混ぜればごみ、分ければ資源」を意識して、この機会に気軽にできることから始めてみましょう。



### 生ごみ処理機などを使って減量しよう!

本市では、生ごみの減量を目的として、家庭用の生ごみ処理機などの購入費に対して補助金を交付しています。

#### 生ごみ肥料化容器等購入設置助成金制度

- 生ごみ肥料化容器: 購入金額の1/2、上限3,000円、1世帯2基まで
- 機械式生ごみ処理機: 購入金額の1/2、上限25,000円、1世帯1基まで(100円未満切り捨て)



### ガウラのSDG'sごみ減量チャレンジ!

ガウラが、家庭で「簡単」に「楽しく」できる、ごみの減量化・資源化の取組にチャレンジしています。

段ボールで作れるコンポストや、不要な雑がみで作れる雑がみリサイクル袋など、ガウラと一緒にごみの減量化・資源化に取り組もう!

ポクとたのしくごみの減量化・資源化を学ぼう!



ガウラのSDG'sごみ減量チャレンジ公式Twitter

### 雑がみ回収ボックスを設置しています

市役所1階ロビー、平川公民館、長浦公民館に、雑がみ回収ボックスを設置しています。身の回りにある雑がみを集め、来庁する際にご利用ください。



#### 注意事項

- 紙袋に雑がみをまとめると、紙袋ごとボックスに入れることができます。ビニール袋に入れてきた場合は、袋から取り出して入れてください。
- 個人情報が含まれるものは、資源化する過程で配慮ができませんので、入れないでください。

みんなで減らそう！

# 食品ロス！



## ✓ 食品ロスとは？

食品ロスとは、まだ食べられるのに捨てられている食べ物のことです。

日本では1年間で約522万トンの食品ロスが発生していると推計されています(令和2年度推計値)。国民1人あたりに換算すると、毎日、お茶碗1杯分(約113g)を捨てている計算になります。

大切な食べ物を無駄なく食べきること、環境や家計にも優しくなります。

## ✓ 食品ロスを減らすためにできること

### POINT 1

買い物に行く前に冷蔵庫の中身をチェックしよう！



### POINT 3

料理や外出時は食べる分だけ作ろう！頼もう！



### POINT 2

すぐ使うものは賞味(消費)期限の近いものを買おう！  
スーパーなどでは手前どりを実践しよう！

### POINT 4

賞味期限と消費期限の違いを知ろう！  
賞味期限…おいしく食べることができる期限  
消費期限…過ぎたら食べないほうがよい期限

## ✓ 保存方法

### 使いきるまで、状態良く保存！

- 1 買ったなら(もらったなら)すぐ下処理しよう
- 2 冷凍は新鮮なうちに、解凍後もすぐに調理しよう
- 3 使う時のことを考えて保存の仕方を考えよう
- 4 冷凍できる食品を知ろう



## マイボトル・マイカップで ごみを減らそう！

タンブラー、水筒、マグカップなどの飲料容器(マイボトル・マイカップ)を使うことで、資源の消費とごみの排出を減らすことができます。地球にやさしい生活をスマートに始めてみませんか。



## 子ども服のリユースイベントを 実施しました

### 「ガウラの古着屋さん」

ごみの減量化・資源化を推進するため、昨年12月に実施し、ご好評いただいた子ども服のリユースイベント「ガウラの古着屋さん」を6月13日から24日までの期間限定で実施しました。

今回は、リユース対象品目を従来の子供服に加えて、子ども向けおもちゃ、絵本、学生服に拡大して実施し、10日間で384組にご来場いただき、3,524点のリユース品をお持ち帰りいただきました。

また、期間中には多くのリユース品を寄贈していただくことができ、大盛況のうちにイベントを終えることができました。

### ご協力ありがとうございました。

今後も継続して、更なるごみの減量化・資源化の啓発活動を行いながら、循環型社会の形成に向けて取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

